

夢空間づくりプロジェクト

こんぜ
金勝の里 はしり
走井

みんなで
自遊空間を
作りませんか!?

湖南アルプスの山上に位置する金勝寺。

金勝寺の歴史は長く、そのはじまりは8世紀、良弁僧正により建立されます。

この金勝寺へと向かうかつての表参道の上り口にあるのが走井（はしり）集落です。走井村が門前の集落であった頃は賑わいがあったにちがいません。

現在14軒の走井集落は、強い結束で地域の賑わいを取り戻す活動を進めています。

「アジサイロード」はその一つ。

かつて金勝寺に続いた道にアジサイを先ず100本を植樹（さらに増やす予定です）。

人々を導くように道の両側をアジサイ並木で飾りました。シカによる食害から守るための工夫もしています。数年経てば梅雨の時期にアジサイの花が咲き誇り、人々を集落まで導いてくれるでしょう。

秋には収穫祭「ハーベストイン走井」が行われます。年に数回、都市農村交流を進める「棚田ボランティア」の受け入れもあり、走井に興味を持ってくれる人々を誘う機会を設けています。

走井を人々を惹きつける楽しい場にしたい。その思いを形にしたいと描いているのが「夢空間づくり」です。

遊休農地が増える中、地域のもつ良いものを都会の人と一緒に活かしたい！

私たちには提供できる農地や空間があります。

都会の人に農の面白さや田舎の静けさ、居心地の良い空間を提供できると考えました。

農作物の作り方、収穫した野菜の美味しい食べ方だって伝授できます。

谷に挟まれた場所なら楽器の練習場にだって使えそう。

三上山を望む展望やホタルの飛翔、美しい星空などの見どころもあります。

交流を通してみんなの自遊空間を一緒に作りませんか。

【お問い合わせ先】明日の走井を考える会 小林 義康

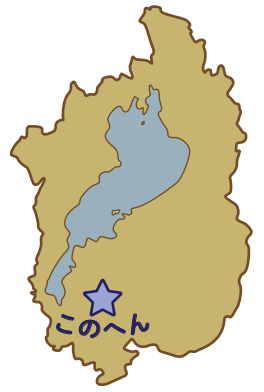
[Facebook] <https://www.facebook.com/harvesta.h/>

[TEL] 090-2705-6368 [E-mail] ykoba@oak.ocn.ne.jp





はしり 知ってほしい走井とその頑張り



< 収穫祭「ハーベストイン走井」は食と音楽の祭典 >

毎年10月に開催していて、ちょっとしたマルシェとなっています。
走井地区のメンバーは企画運営だけでなく、農作物販売もしています。
また、お茶席も設けられます。



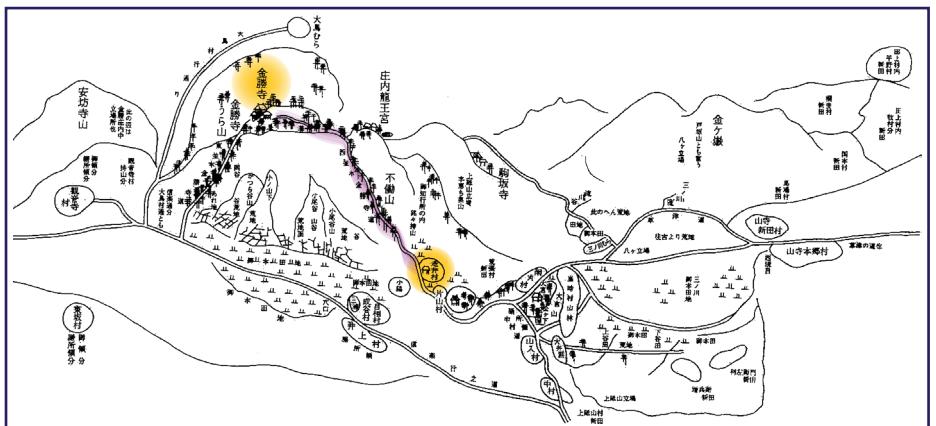
< 棚田ボランティアを通じた交流イベント >

年に数回、地域の環境を守るために参加者を募って草刈りや清掃の活動をしています。
作業だけでなく食事会や注連縄づくり、漬物講座など楽しめる企画もあります。



< 金勝寺と走井の歴史 >

奈良時代、花崗岩の荒々しい山肌を示す金勝山は修行の場となっていました。狛坂摩崖仏は、その名残と考えられています。そして、最も古い金勝寺の記録は西暦833年で、良弁上人が開いたとされています。江戸時代には徳川家康から30石の寺領を寄進され周辺の村々の肥草や燃料供給の山林として利用されていました。当時、大野神社から走井村を抜けて金勝寺へ向かうのが「西参道」でした。それを記した1609年の絵図には走井地区の棚田がすでに描かれています。



出典：栗東の歴史(近世)第2巻 (栗東町史編さん委員会 1990)